

施工上の注意

- (1) 被塗面の油・湿気・じんあい・水分・その他の有害な付着物は、完全に除去して下さい。
- (2) 使用時には、主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にして下さい。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事があります。
- (3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くして下さい。

使用上の注意

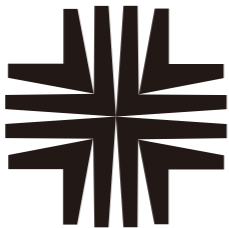
引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取り扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

- 取扱上の注意**
1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
 2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
 3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は迷気マスク、頭巾、保護メガネ、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
 4. 取扱い後は、手洗い及びうがい^⑥を十分に行って下さい。
 5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーグストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
 6. よくアタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
 7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
 9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
 10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

- 緊急時の処置**
1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
 2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
 5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
 6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

⑥⑦

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。
記載以外の条件で使用される場合は、事前に弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。



DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23(TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1(齋喜センタービル)
北関東営業所 ☎0480-26-5111 ☎346-0003 埼玉県久喜市久喜中央1-5-18(辻屋ビル)
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54(日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5(富士見/イネスビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県相模原市中央区薮元台1-7-7(トラスト・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8(静岡三菱ビル)

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11(SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14(金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005 富山市新桜町6-15(Toyama Sakuraビル)
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1(京都山科ビル)
姫路出張所 ☎079-226-5727 ☎670-0965 兵庫県姫路市東延末1-1(姫路NKビル)
岡山営業所 ☎086-214-1852 ☎700-0034 岡山市北区高柳東町10-30
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1(サンフラワー通り東ビル)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-^{いぬいろ}1716 <https://www.dnt.co.jp/>

エポニックスAL EPONICS AL

特殊エポキシ樹脂アルミニウムペイント

大日本塗料株式会社

エポニックスAL 特殊エポキシ樹脂アルミニウムペイント

防食塗料は、鉄を腐食から護ることを使命としていますが、その防食性能は、塗料と塗装が一体となってはじめてその効果が発揮されます。特に、塗り替え塗装においては、鉄構造物のさび落とし工程が不可欠であり、塗料本来の性能を発揮させるために重要なポイントとなっていますが、多くの現場では、環境上ブラスト処理できない状況にあります。「さび止めのDNT」といわれる当社では、より単純な作業で最大の防食効果をもつ塗料の開発に成功しました。それは、優れた性能をもつエポキシ樹脂系で、しかも不可欠といわれたブラスト処理を特に必要とせず、最高の防食効果を発揮する『エポニックスAL』です。

エポニックスALは、塗料自体が化学的防食効果を有しているとともに、樹脂がさびの内部に浸透してさびを固定し、さびの進行を防ぐ独特の性能をもち、しかも機械工具によるさび落とし処理で、その防食効果をいかに発揮します。

商品

商品名	色相	容量	シンナー
エポニックスAL	シルバー	20kgセット (主剤 10kg) (硬化剤10kg)	エポニックスシンナーA

特長

1.塗り替えに最適なノンブラストタイプ。

さび面に対し、ディスクサンダー、ワイヤブラシを使用して除錆するだけでその防食効果を十分発揮する塗り替え用塗料として優れた性能をもっています。

2.強力な付着力。

素材の残存錆部に塗料が浸透し、さびを固定してその進行を防ぎ、キレート反応により素材との付着力を向上させます。また、ショッププライマー面に対しても優れた付着力をもっています。

3.腐食物質に対して独特の性能を有する。

腐食物質の浸透に対し、エポキシ樹脂本来のち密な塗膜構造に加え、アルミ顔料による遮断効果によって2重に素材を防護します。さらに特殊防錆機構により腐食物質を不活性化する特殊な塗膜性能をもっています。

4.同一塗料による下塗り、上塗り兼用一貫システムでシルバー仕上げが可能。

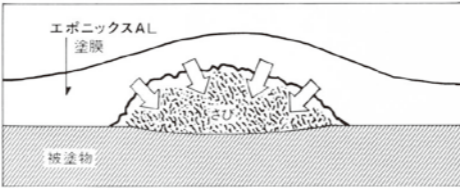
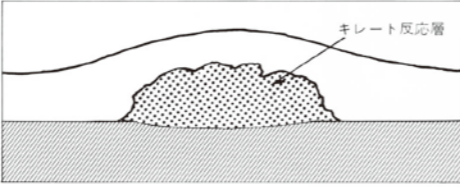
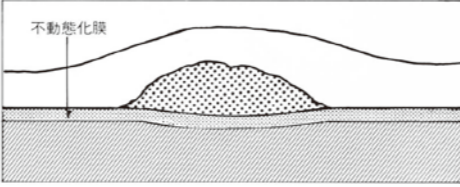
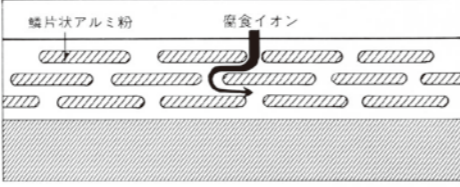
輝度の高いアルミ顔料を使用しているため、2回塗りによって下塗りとしての防錆力の発揮と上塗塗料としてのシルバー色の仕上げが得られます。

用途

鉄構造物の塗り替え及び新設

- 石油タンク天蓋
- ガードポール、ガードレールなど、道路附帯設備(鉄及び垂鉛めっき)
- 鉄塔(鉄及び垂鉛めっき)

※上記以外の用途に使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

<p>エポニックスALの防錆機構</p> <p>1.樹脂の分子量を低くし、表面張力を調整することにより、塗料をさび部に浸透させる。</p>  <p>2.特殊変性の樹脂とさびの鉄イオンがキレート反応し、さびを安定化させるとともに、付着力を与える。</p>  <p>3.防錆顔料が被塗物の表面に不動態化膜を形成し、さびの進行をストップする。</p>  <p>4.鱗片状アルミ粉を使用することにより、腐食イオンの侵入距離を長くさせ、腐食を防止する。</p> 

- 船舶
- プラント設備(配管、ラック、鉄骨など)
- 橋
- 水圧鉄管外面
- その他

塗料性状

項目	内容				
容姿	二液性				
荷姿	20kgセット(主剤：10kg、硬化剤：10kg)				
色相	シルバー				
光沢	つや有り				
密度(23℃)	塗料	1.30			
	揮発分	0.86			
粘度(23℃)	88KU				
加熱残分	76%				
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	2時間	1時間	30分	15分
	半硬化	24時間	12時間	8時間	6時間
標準膜厚	50μm(刷毛塗り)				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限～上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は、標準を示すものであり、若干の変動があります。

標準塗装仕様

適用	工程	塗装回数	作業内容	塗装間隔(20℃)	標準使用量(kg/m ² /回)		標準膜厚(μm/1回)	
				刷毛・ローラー	エアレス			
一般仕様	素地調整	—	—	3種ケレン(ISO-St2)以上				
	下塗り	エポニックスAL	1	主剤50部、硬化剤50部の割合に混合し、エポニックスシンナーAで希釈して十分攪拌後塗装する。	1～14日	0.13	0.17	50
	中塗り	エポニックスAL	1		1～14日	0.13	0.17	50
	上塗り	エポニックスAL	1		—	0.13	0.17	50
石油タンク天蓋など	素地調整	—	—		3種ケレン(ISO-St2)以上			
石油タンク天蓋など	下塗り	エポニックスAL	1	主剤50部、硬化剤50部の割合に混合し、エポニックスシンナーAで希釈して十分攪拌後塗装する。	1～14日	—	0.24	70
	上塗り	エポニックスAL	1		—	—	0.24	70

※塗り替え3種ケレンの場合、鋼板露出部は補修塗りした方が防食性に優れます。
※標準使用量の算出方法
刷毛・ローラー：理論塗布量×1.3
エアレス：理論塗布量×1.7
被塗物の形状その他諸条件の変化により増減します。

塗装基準

項目	内容				
下地処理	ISO-St2(3種ケレン)以上				
調合法	主剤：50部、硬化剤：50部(重量比)				
熟成時間	約10分放置				
可使時間	5℃	20℃	30℃	40℃	
	12時間	6時間	4時間	2時間	
塗装方法	刷毛・ローラー、エアレス				
使用シンナー	エポニックスシンナーA				
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー		エアレス	
	希釈率	0～10%		0～15%	
	標準使用量	0.13kg/m ² /回		0.24kg/m ² /回	
	標準膜厚	50μm		70μm	
	ウエット管理膜厚	75μm		125μm	
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	48時間	24時間	16時間	12時間
	最大	30日	14日	10日	7日

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載以外の条件で使用される場合は、事前に弊社にお問い合わせ下さい。

関連法規

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

※本塗装仕様不適箇所
①没水部
②強いアルカリ環境

※特に美装仕上げ及び色仕上げが必要な場合は別途ご相談下さい。